



井関 巖さん この道62年のベテラン石けん職人。

本物の石けんは職人技の釜炊きから生まれる！
井関巖さん(80歳)は、石けん釜炊き一筋62年。18歳から石けんづくりに携わり、シャボン玉石けんの歴史とともに歩んできました。「シャボン玉石けんに出会えたことは、人生で一番の幸ですね。」と笑顔で語る井関さん。「私は昔から不器用でね。頭のいい友達や器用な子は色々なことをしていたけれど、私には石けんづくりしかありませんでした。でも、この年になっても元気で働いていられることにとて



も感謝しているし、自分が作った石けんが多くの人の肌に触れて、喜んでもらえると思うと、この仕事をしてきて本当に私は幸せ者だなと思います。
80歳には思えないほど、肌つやがよく、元氣な井関さん。その秘訣は石けんづくりに必要な「五感」を大切にしているからではないでしょうか。工場の中はタンクや攪拌機など機械化は進んでいるものの、ケン化法に欠かせないのは熟練の技。丁寧に原料を釜で炊きこみながら目で様子を確かめ、混ざる音を聞き、臭いを嗅ぎ、触れて、舌で味をみることで、質の良い石けんが生まれるのです。「石けんをなめる」と聞いて驚く方もいらっしゃるかもしれませんが、それは、シャボン玉石けんが口に入っても安全な原料で作られていることの証。苛性ソーダ自体は劇薬ですが、化学反応によって無害化されます。ケン化法により1週間かけてじっくりと釜炊きされた石けんには天然の保湿成分(グリセリン)が残っています。EM石けんの開発当初、比嘉照夫教授も釜の石けんを口に運び、思わず「うん！おいしい！」とおっしゃっていたそうです。



1. 苛性ソーダと天然油脂をタンクの中で反応させている様子。工場の中はほんのり油のいい香りがしました。



2. 工場内のいたる所にイメージキャラクターの「シャボンちゃん」が。



3. 型抜きされ、シャボンちゃんのしるしがされた固形石けん。



4. オートメーション化された倉庫。奥行きが40mあり、ここから全国に発送されます。



5. 取材当日、高校生を対象に環境教育の授業が行われていました。

※3 ケン化法とは、大きな釜で天然油脂に熱を加えながらゆっくりと苛性ソーダ(液体は苛性カリ)を反応・熟成を繰り返して石けんをつくる方法です。これに対して、4~5時間で行える「中和法」という大量生産方式でつくられた石けんには保湿成分であるグリセリンが含まれていません。

現場・産地レポート

「無添加」のこだわりで健康と環境を守り続けるシャボン玉石けん

シャボン玉石けん株式会社 福岡県 北九州市

「青いお空がほしいのね〜♪飛ばしてごらん シャボン玉♪」のCMでおなじみのシャボン玉石けん株式会社。2010年2月で創業100周年を迎えた今、「健康な体ときれいな水を守る」という理念のもと次の100年に向けた石けんへの想いを取材してきました。



※シャボン玉石けん(株)イメージキャラクターの「シャボンちゃん」

福岡県北九州市



福岡県北九州市若松区 シャボン玉石けん株式会社

何も加えない、を貫いて。～森田社長が語る、石けん作りの信念～

環境問題への関心の高まりや化学物質の害への認識の広がりから、ここ15年程で「シャボン玉石けん」の名前を広く皆様に知って頂けるようになった気がします。今でこそ「無添加」を銘打った商品は巷にたくさん出ていますが、中には「これが無添加？」と疑問符がつくものもあります。

現在の法律では「着色料」無添加や「蛍光剤」不使用など、「何が」添加されていないかを表記しなければ無添加をうたえなくなっています。ですが、「何が添加されているか」という前に、「添加される元(ベース)」がそもそも安全かどうかの問題だと思います。ちょっと乱暴な例えですが、「100%無添加の農薬です」というのと、「このお茶には砂糖が添加されています」というのでは、どちらが安全なものかはすぐわかりますよね。

私たちはあくまでも「石けん」をベースに考えています。石けん素地になるのは苛性ソーダと天然油脂。当社の石けん職人は五感をフル活用して石けん作りをします。時には、仕上がり状態を舌で確認することもあります。それだけ安全な原料を厳選しているのです。

また、油脂は酸化しやすいため、石けん素地を作る際には酸化防止剤を入れているメーカーも少なくありません。しかし、それはキャリアオーバー^{※2}として商品には表示されていないため、「無添加」のように見えるだけです。我々の工場には、年間1万人もの人が見学に訪れていますが、以前、油脂の商社の方がいらした時、石けん素地の天然油脂の中に何も入れていない様子を見て「本当に無添加なのは、シャボン玉さんだけかもしれないですね」と、驚かされていました。

ベースが安全であること、そして余計なものを何も加えないこと。私たちは、これからも徹底して無添加石けんにこだわり続けます。



森田隼人(はやと)社長(34歳)。先代(写真左)の後を継いで3年。若い力で次の100年を目指しています。

※1 苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)とは、海水から作られる強アルカリ性の固体で、幅広い産業で利用されており、石けん作りにも欠かせない原料です。強アルカリ性を示すため、劇薬として取り扱いが厳しく制限されていますが、シャボン玉石けんでは、長年の経験とノウハウにより、安全性を実現しています。
※2 キャリーオーバーとは原材料からエキスを抽出する際に使用する薬品や、防腐剤や酸化防止剤など成分を安定化させる目的で使用される添加物のこと。2001年より化粧品成分は全成分の表示が義務付けられましたが、キャリアオーバーの成分は表示しなくてもよいということになっています。

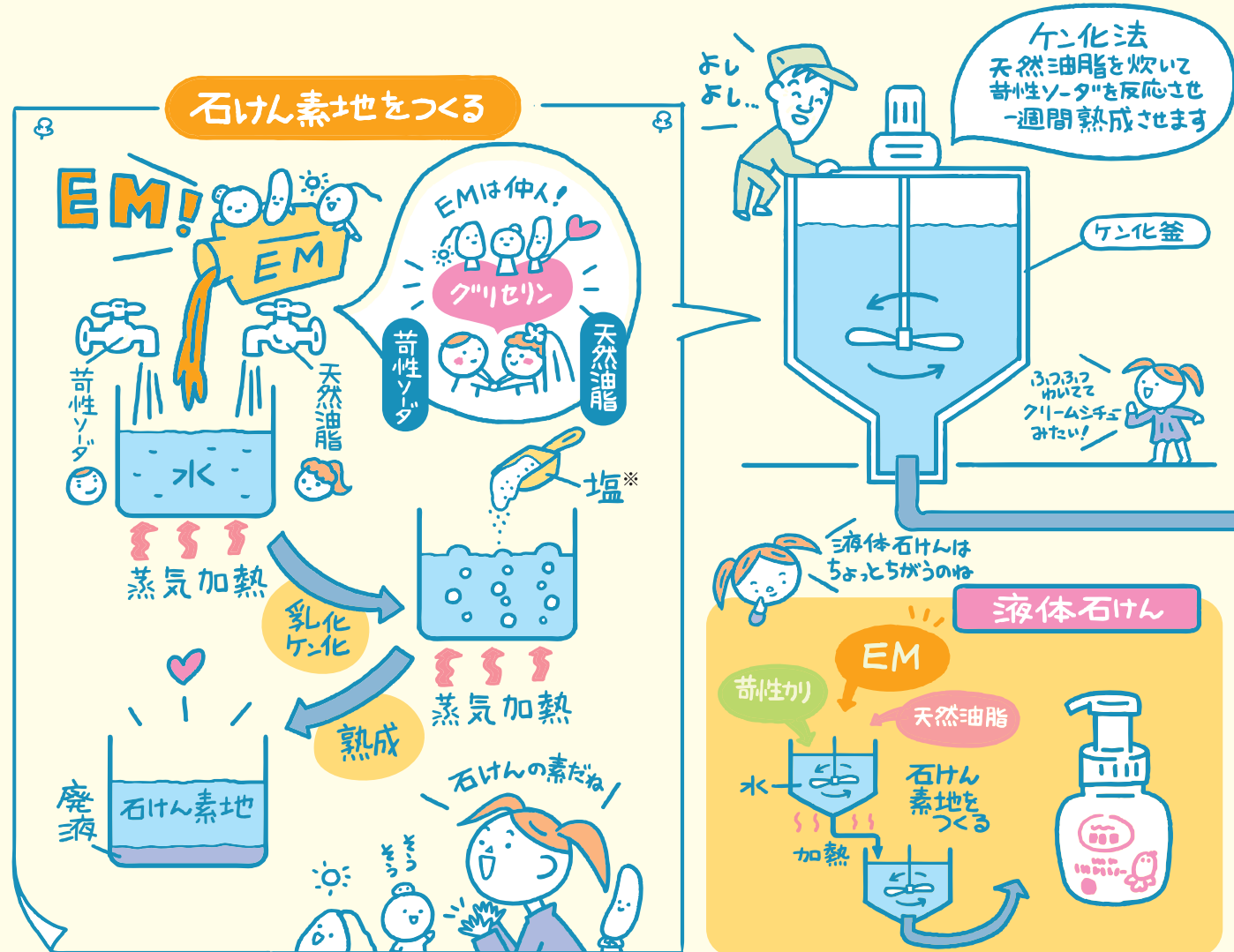
シャボン玉石けん 誕生秘話

先代の森田社長は1961年頃から湿疹に悩まされていました。ある日、国鉄(現・JR)から機関車を洗う無添加石けんの製造を受注し、試しに自分でも使ってみたところ、湿疹はウソのようにきれいになっていきました! 当時、同社の主力製品は合成洗剤でしたが、「体に悪いとわかった商品を売るわけにはいかない」と決断し、1974年から無添加石けんの製造販売に切り替え、翌年にシャボン玉石けんが誕生しました。

「自分が使っているものが合成洗剤であることに気づいていない方が、意外と多いですね。石けん」と名のつく商品のもので、裏のラベルを見れば、合成洗剤というものがあります。シャボン玉の石けんシャンプーで髪を洗って毛が生えることはありませんが、化学合成されたシャンプーで毛が抜けることはありません。畑に除草剤をまくのと同じことを体に行っている(と)気づいてほしい。健康な体ときれいな水を守るために、まず家庭の中の洗剤・シャンプー類を見直してもらい、石けんの良さを知って、数ある石けんの中からシャボン玉石けんを選んでいただければ嬉しです。そのためには、私たちはこれからも世の中に訴え続けていこうと思っております」と、使命感に燃える森田社長。

現在、同社では、産学官連携により「無添加石けんを科学する」として数々の研究やデータの蓄積を行っています。ユーザーからの声を研究に反映させ、日々進化を遂げるシャボン玉石けん。次の100年に向けての取り組みはすでに始まっています。

シャボン玉石けんができるまでの製造工程(1週間~10日間)



※石けん素地と廃液を分けるために塩を加えます。塩は廃液とともに分離し、最終的には製品内に残りません。シャボン玉石けんでは、天然塩を使用しています。

石けんと合成洗剤の違い

石けんも合成洗剤も「界面活性剤」の一種ですが、以下のような違いがあります。

石けん

天然の動植物性油脂に 苛性ソーダ(液体は苛性カリ)を 反応させたもの。

合成洗剤

石油分解ガスから化学的に 合成された合成界面活性剤を 主成分とするもの。

いい石けんづくりのポイントには、苛性ソーダと油脂がより細かく、密に反応することだそう。井関さんは石けんの原料が溶け合っていく様子を「苛性ソーダは男性、油脂は女性、うまく溶け合って愛の結晶のグリセリンができます。EMを石けんづくりで使用すると、うまく反応が進みますよ。まるで、男女の仲を取り持っている仲間みたいですね」と説明してくれました。

同社では、より多くの方に合成洗剤の害や合成洗剤と石けんの違いを訴える活動に取り組んできました。実際に商品を製造しているところを見てもらう工場見学、「シャボン玉友の会だより」やWebなどでの情報発信、出張講座を積極的に展開していきます。

体のため、環境のために 石けん普及に取り組み

EMは石けんづくりの仲間

シャボン玉

いいものをよりいいものに。シャボン玉石けんシリーズは日々研究を重ねています。

EMハンドソープ



シャボン玉 EMハンドソープ 250ml 577円(税込)
シャボン玉 (詰替用) EMハンドソープ 200ml 378円(税込) 成分:水、カリ石けん素地

EM粉石けん



シャボン玉 EM粉石けん 1kg 880円(税込) 成分:純石けん分(99%脂肪酸ナトリウム)

EM浴用石けん



シャボン玉 EM浴用石けん 100g 170円(税込) 成分:石けん素地

シンプルな材料で時間と愛情をかけてつくられたシャボン玉石けん。きらきらと光輝くきめ細かい泡で無添加のやさしさを。